

資料－8

第6回 後志利別川流域治水協議会

第9回 後志利別川水系外減災対策協議会

流域治水・減災対策の取組について

令和7年2月17日

区分	対策内容	実施主体	施策内容と実施予定	R6年度の実施状況	備考
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	後志利別川の河道掘削及び堤防強化等	函館開発建設部	・河道掘削(西丹羽・愛知地区)は短期で実施済み ・堤防整備(花石上流地区)は短期で実施中 ・堤防整備(鈴金・田代地区)は短期で実施中 ・樋門改築(冷水樋門)は短期で実施済み	・河道掘削(愛知地区) ・堤防整備(鈴金地区)※断面確保 ・樹木伐採(今金地区)	
	後志利別川圏域の河道掘削及び堤防整備等	渡島総合振興局 (函館建設管理部)	・河道掘削(真駒内川・鰾川・トンケ川)は短期で実施中 ・堤防整備等(真駒内川・トンケ川)は短期で実施中	河道掘削及び堤防整備等(盛土工・護岸工)を実施 (真駒内、鰾川、トンケ川)	
	既存ダムにおける事前放流等	函館開発建設部	・美利河ダムにおける事前放流を実施中 ・事前放流に関する治水協定締結済み(R2)	R6年度は美利河ダムにおいて洪水調節(ダム湖への流入量が100m3/s以上の出水)を5回実施。事前放流実施要件該当は無し。	
		函館開発建設部、せたな町、今金町、土地改良区	・真駒内ダムにおける事前放流及び貯水位運用を実施中 ・事前放流に関する治水協定締結済み(R2)	・真駒内ダムにおいて貯水位運用を実施	
	内水による浸水被害から市街地を守るための内水排除対策	函館開発建設部、今金町	・内水排除作業場所の整備を短期で実施予定 ・R4.8洪水被害を受けて、今金2号樋門箇所の内水対策を実施	・貯留施設の検討実施(今金町)	
	治山対策	渡島森林管理署	・ピリカスキー場のゲレンデEコースにて、地すべり効果判定業務を実施	・ピリカスキー場のゲレンデEコースにて、地すべり対策工事を実施	
		檜山振興局 (林務課)	・治山ダムによる土砂流出防止対策(稲穂2地区)	・R6実施_稲穂2地区において治山ダム1基 ・R7計画_稲穂2地区において治山ダム1基	
	森林整備	渡島森林管理署	・今金・せたな地区の国有林内で森林整備(下刈・間伐)を長期で実施	・R6実施箇所なし	
		檜山振興局 (林務課)	・北檜山地区、今金地区で毎年、植栽や間伐を実施(造林事業)	・北檜山地区、今金地区で植栽54ha、間伐85ha実施(R6年度造林事業)	
		森林整備センター	・後志利別川流域ではR6年度の整備箇所なし (民有林所有者からの申し出により次年度以降整備の可能性あり)	・R6実施箇所なし	
	水田等の貯留活用	せたな町、今金町、土地改良区 等	・広報活動、農家への働きかけを短期で実施 ・水田等を活用した雨水貯留を中期～長期で実施	・今後検討する予定(今金町)	
	下水道雨水管等の整備	せたな町 (建設水道課)	・真駒内川さけ観察広場内水排除場所整備事業実施済み 集水枡1基、作業路165㎡	・R6実施箇所なし	
		今金町 (公営施設課)	・第19排水区(浸水対策)を短期～中期で実施中 雨水管φ450～1000mm L=880m	・R6実施箇所なし	
	農業施設整備	檜山振興局 (農村振興課)	・排水機場ポンプ更新(西兜野地区)は短期で実施予定	・排水機場ポンプ(西兜野地区)ポンプ施設分解整備	(3台のうち3台目)
被害対象を減少させるための対策	まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討	函館開発建設部	・水害リスクマップの作成・公表を短期で実施予定	・公表に向けた調整実施	
	河川掘削土を活用した内水氾濫頻発地域の地盤嵩上げ	函館開発建設部 檜山振興局(農村振興課)	・気候変動を踏まえた河川整備計画の変更を実施済み ・河道掘削土の活用を検討	・検討中 ・農地での活用に向けて河川側から情報を提供	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	まるごとまちごとハザードマップの整備促進	函館開発建設部 せたな町(総務課)	・調査・検討を短期で実施 ・中期～長期で整備及び周知	・状況を見て検討を実施	
	被害軽減対策	函館開発建設部、函館地方気象台、渡島総合振興局、檜山振興局、せたな町、今金町	・流域タイムライン等の運用 等(減災対策協議会の取り組み)	・R6流域タイムラインの運用なし	

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期						これまでの取組内容	今後の取組内容
					R3	R4	R5	R6	R7		
早めの情報共有による円滑かつ迅速な避難行動のための取り組み	■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	函館開発建設部	完了						○H28.10.31 後志利別川洪水浸水想定区域公表（函館開建）	
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップ及びまるごとまちごとハザードマップの作成と周知	函館開建、函館地方気象台、せたな町、今金町	完了						○H29年12月（R6年2月更新）洪水ハザードマップ公表済み（せたな町） ○H30年3月 洪水ハザードマップ公表済み（今金町）	
		小学生等を対象としたコンテスト形式によるポスター作成・公共用施設への掲示や水防災に関する出前講座・講習会の実施、新学習指導要領に基づく防災教育について学校教育現場への支援	函館開建、函館地方気象台、檜山・渡島総合振興局、道警函館方面本部、せたな警察署、せたな町、今金町、せたな・今金消防署	引き続き実施	■	■	■	■	■	○新学習指導要領に対応した防災教育の指導計画の作成支援を今金小学校で実施 ○北檜山小学校には情報共有 ○北檜山小学校、瀬棚中学校における「1日防災学校」の実施支援（各町、檜山振興局）	○継続実施
		関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	函館開建、函館地方気象台、檜山・渡島総合振興局、道警函館方面本部、せたな警察署、せたな町、今金町、せたな・今金消防署	引き続き実施	■	■	■	■	■	○H30タイムライン防災シンポジウム開催（函館開建） ○防災を考える集い開催（今金町） ○北海道防災総合訓練実施（せたな町、北海道）	○継続実施
		ホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実	函館開建、函館地方気象台、檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	○減災対策協議会HPの開設、資料掲載（函館開建） ○eラーニング「大雨のときにどう逃げる？」を気象庁HPで提供開始（気象台）	○継続実施
避難行動に必要な時間を稼ぐための水防活動に関する取り組み	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	函館開建、渡島総合振興局、せたな町、今金町、せたな・今金消防署	引き続き実施	■	■	■	■	■	○重要水防箇所のリバイス作業、協同点検の実施（函館開建、関係機関）	○継続実施
		関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した水防訓練を継続実施	函館開建、渡島総合振興局、道警函館方面本部、せたな警察署、せたな町、今金町、せたな・今金消防署	引き続き実施	■	■	■	■	■	○水防工法現地講習会の開催等（函館開建、関係機関）	○継続実施
		迅速な水防活動を支援するため、中上流部における一時的な保管方法を検討の上、水防資機材を充実	函館開建、渡島総合振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	○減災協議会（幹事会）において各機関の水防資機材の保管状況を情報共有	○継続実施
		的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員（消防団）の確保を図る	せたな・今金消防署、檜山振興局	引き続き実施	■	■	■	■	■	○リーフレットの配布やポスター掲示の実施（せたな・今金消防署、檜山振興局）	○継続実施
		自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	函館開建、檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	○H30確認済み	○継続実施
	■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項	浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進	せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	○ハザードマップの配布や情報共有（せたな町） ○防災ガイドマップの配布（今金町） ○H27.10月作成、H30.3月改訂（今金町）	○継続実施
社会経済活動の早期復旧のための取り組み	■氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み	想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	函館開建、渡島総合振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	○H30 排水作業準備計画を作成 ○R1 排水作業準備計画を協議会で情報共有（函館開建）	○随時見直し
		訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認	函館開建、渡島総合振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■	■	■	■	■	○排水ポンプ車操作訓練の実施（函館開建、関係機関）	○継続実施

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	R3	R4	R5	R6	R7	これまでの取組内容	今後の取組内容
ハード対策	■洪水氾濫を未然に防ぐ対策	堤防整備等	函館建設管理部	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	流下能力対策（函館建管）	継続
					■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■		
	■危機管理型ハード対策	堤防天端の保護	函館建設管理部	完了							
	■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	函館建設管理部、函館地方気象台	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	川の防災情報の充実 川の水位情報で危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラの情報提供開始（函館建管） ○今後の雨、危険度分布等提供 ○SNSを活用した記者会見等配信（函館地方気象台）	継続
					■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■		
		洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	函館建設管理部、函館地方気象台	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○H30年5月～運用開始（函館建管） ○H30年10月 配信訓練（函館建管） ○危険度分布通知サービス開始（函館地方気象台）	継続
					■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■		
		高齢者等に配慮し、防災ラジオなど様々な情報伝達手段の整備を検討し、現在行っている情報伝達手段と合わせて運用することにより充実を図る。	せたな町、今金町								
		水害リスクが高い箇所に対して、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計等の整備	函館建設管理部	完了							
		迅速な水防活動を支援するための水防資機材備蓄施設等の整備	函館建設管理部、函館開発建設部、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続	継続
					■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■		
		防災拠点施設の強化として、防災行政無線の整備や更新、防災拠点施設における自家発電機等の改良検討及び防災拠点代替施設検討	檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続	継続
					■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■		
広域的に氾濫する地域特性を踏まえた迅速かつ確実な避難行動のための取組	■情報伝達、避難計画等に関する事項	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し、避難経路の検討	檜山振興局、函館建設管理部、函館開発建設部、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	○H29年12月（R6年2月更新）洪水ハザードマップ公表済み（せたな町）※後志利別川のみ ○H30年3月 洪水ハザードマップ公表済み（今金町）	継続
					■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■		
		タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上	函館開発建設部、函館地方気象台、檜山振興局、函館建設管理部、北海道警函館方面本部、せたな警察署、せたな町、今金町、せたな・今金消防署、土地改良区	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続	継続
					■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■		
		各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報（避難判断水位の設定等）や、住民への情報伝達方法・伝達内容について役場職員向けマニュアルの作成及び地域防災計画の見直し	檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続	継続
					■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■		
		広域避難計画（近隣4町による災害時相互応援協定等）の活用を想定した具体的な検討	檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続	継続
					■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■		
		避難所マニュアルの運営訓練等	せたな町、今金町							R2年6月避難所マニュアル作成済（せたな町）	
		要配慮者利用施設における避難確保計画策定支援	檜山振興局、函館建設管理部、函館開発建設部、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	継続	継続
					■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■		

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	R3	R4	R5	R6	R7	これまでの取組内容	今後の取組内容
広域的に氾濫する地域特性を踏まえた迅速かつ確実な避難行動のための取組	■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表	函館建設管理部	完了							
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップ及びまるごとまちごとハザードマップの作成と周知	檜山振興局、せたな町、今金町							○H29年12月(R6年2月更新)洪水ハザードマップ公表済み(せたな町)	
		小学生等を中心とした河川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施	函館開発建設部、函館地方気象台、檜山振興局、せたな町、今金町、北海道警察函館方面本部、せたな警察署、せたな・今金消防署	引き続き実施	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	継続	継続
		関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育の実施	函館開発建設部、函館地方気象台、檜山振興局、函館建設管理部、北海道警察函館方面本部、せたな警察署、せたな・今金消防署、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	継続	継続
		防災無線やホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実	函館開発建設部、函館地方気象台、檜山振興局、函館建設管理部、北海道警察函館方面本部、せたな警察署、せたな・今金消防署、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	継続	継続
広範囲にわたる氾濫被害から地域を守り、被害を最小化するための水防活動・復旧に関する取組	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団(消防団)や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	函館建設管理部、せたな警察署、せたな・今金消防署、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	○重要水防箇所のリバイス作業、協同点検の実施(函館建管)	継続
		関係機関が連携した広範囲に及ぶ浸水や急激な水位上昇を想定した水防訓練を実施	函館開発建設部、檜山振興局、函館建設管理部、せたな警察署、今金・せたな消防署、今金町、せたな町	引き続き実施	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	○水防工法現地講習会の開催等(函館開建)	継続
		的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団(消防団)員数の確保を図る	檜山振興局、今金消防署、せたな消防署、今金町、せたな町	引き続き実施	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	継続	継続
		自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	函館開発建設部、檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	継続	継続
		水防団(消防団)間での連携、協力に関する事項	せたな町、今金町								
		町防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取組を行う。	函館開発建設部、函館地方気象台、檜山振興局、函館建設管理部、北海道警察函館方面本部、せたな警察署、せたな・今金消防署、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	継続	継続
		町向け川の防災情報による河川水位や排水設備等の情報の共有	函館開発建設部、函館地方気象台、檜山振興局、函館建設管理部、北海道警察函館方面本部、せたな警察署、せたな・今金消防署、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	継続	継続
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた水防計画の見直し	檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	継続	継続
	■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項	浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進	せたな町、今金町								
		大規模工場等の自衛水防に係る取組の推進	せたな町、今金町								
	■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組	想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	函館開発建設部、函館建設管理部、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	○H30 排水作業準備計画を作成 ○R1 排水作業準備計画を協議会で情報共有(函館建管)	継続
		訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認	函館開発建設部、函館建設管理部、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	○排水ポンプ車操作訓練の実施(函館開建)	継続
	■要配慮者利用施設等の自衛水防の推進に関する取組	要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	檜山振興局、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	継続	継続
その他	■災害対応に関する事項	災害時及び災害復旧に対する支援強化	函館開発建設部、函館地方気象台、檜山振興局、函館建設管理部、北海道警察函館方面本部、せたな警察署、せたな・今金消防署、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	継続	継続
		災害情報の共有体制の強化	函館開発建設部、函館地方気象台、檜山振興局、函館建設管理部、北海道警察函館方面本部、せたな警察署、せたな・今金消防署、せたな町、今金町	引き続き実施	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	継続	継続

■河道掘削、堤防整備等の実施

・後志利別川本川の河道掘削、樹木伐採および堤防整備を実施

■河道掘削（愛知地区）



■樹木伐採（今金地区）



■堤防整備・植生工（中里地区）



■堤防整備・堤防補強（鈴金地区）



・河道掘削、樹木伐採により後志利別川本川の流下能力が向上。※出水時の河川水位が低下し、内水排除にも寄与。
・堤防の洪水に対する安全性が向上。

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備



根固めブロック(2t級) ※令和5年度末時点

備蓄場所	豊岡水防拠点	今金水防資材備蓄基地	美利河ダム資材置場
備蓄数	646個	85個	34個
合計	765個		

・水防資材を備蓄し、出水時の減災対策に備える。

■水防訓練等

- ・水防工法講習会、災害対策用機械の操作訓練を実施

■水防工法講習会



令和6年8月1日に後志利別川の今金水門上流右岸河川緑地運動公園において、水防工法講習会を開催し、消防団や災害時協定会社など42名がロープワーク、土のう製作、積土のう工、月の輪工を学びました。

■災害対策用機械操作訓練



令和6年6月26日、8月20日に後志利別川の豊田3号樋門において、函館開発建設部と函館建設業協会との連携強化及び地域防災力向上を目的に、災害対策用機械の操作訓練を行い、災害時協定会社ら合計71名が参加しました。

・水防団による水防活動、災害協定会社の排水活動の対応能力の向上。

■防災・減災対策

・防災教育の推進(一日防災学校)

小学校で一日防災学校を開催、「洪水の仕組み」の説明、「洪水から身を守るための教育」の映像視聴、「マイ・タイムライン」の作成を実施しました。

※教材やマイ・タイムラインに関する資料は、函館開発建設部と小学校の先生が事前に打合せを行い準備。

■開催日 令和6年8月26日(金)(種川小学校) ■参加者 3~6年生 14名(種川小学校)
令和6年9月 6日(水)(今金小学校) 4年生 19名(今金小学校)

■参加機関 主催:種川小学校、今金小学校 支援:函館開発建設部 今金河川事務所 3名



「洪水の仕組み」の説明



「洪水から身を守るための教育」の
映像視聴



マイ・タイムラインの
作成

・防災教育の推進により防災意識、対応能力の向上。

■河道掘削、堤防整備等の実施

・真駒内川、うぐい川、トンケ川において河道掘削及び堤防整備等（盛土工・護岸工）を実施

■河道掘削・盛土工・護岸工（真駒内川）



■河道掘削（うぐい川）



■河道掘削・盛土工・護岸工（トンケ川）



・河道掘削、護岸工により後志利別川支川の流下能力が向上。

■ 治山対策、森林整備および農業施設整備の実施

- ・ 治山対策は、稲穂2地区において溪間工(治山ダム)2基の施工(R6実施、R7計画)
- ・ 森林整備は北檜山地区、今金地区で毎年、植栽や間伐を実施(造林事業)
- ・ 農業施設整備は、西兜野地区の更新工事を実施。

■ 治山対策

着手前



完成



流域内で実施した治山ダム

■ 森林整備(北檜山地区、今金地区)



植栽54ha



間伐85ha

■ 農業施設整備

施設整備計画

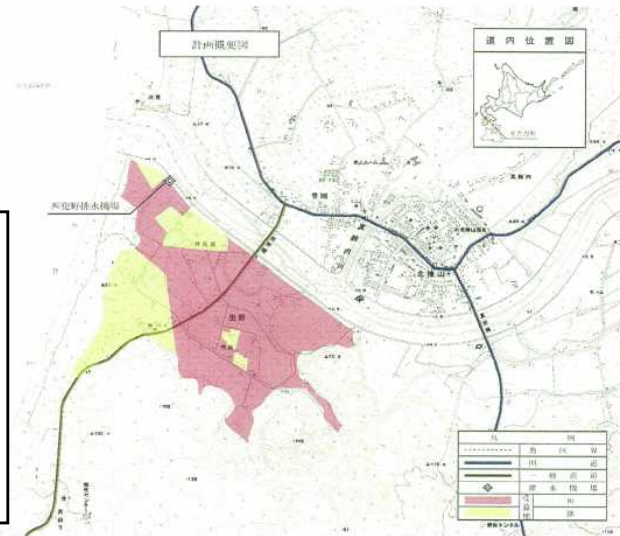
機械設備 横軸斜流ポンプΦ400、Φ1000×2台、
ディーゼルエンジン170PS×2台

電気設備 中央監視操作盤、動力引込盤、
電灯照明引込盤、動力制御盤

土木工事

(R7工事)

建築工事(外壁補修)



西兜野排水機場施設の更新・補強・補修(奥:2号P完了、中:1号P完了)

- ・ 治山対策、森林整備により山地災害から地域を保全。
- ・ 排水機場の更新・補強・補修により、洪水時の内水排除を確実に実施。

■防災・減災対策の実施

- ・1日防災学校及び自主防災組織による防災訓練の実施、情報発信対策の強化

防災教育の推進

○一日防災学校



- ・市内の小中学校において、避難所生活体験や過去の災害から学ぶ防災活動をテーマに講話を行いました。

※実施日、対象学校・学年、参加人数

- ・7/12 瀬棚小学校 4年～6年 19人
- ・10/19 瀬棚中学校 全学年 23人
- ・10/22 北檜山小学校 4年～6年 84人
- ・10/30 北檜山中学校 全学年 95人

○自主防災組織の防災研修



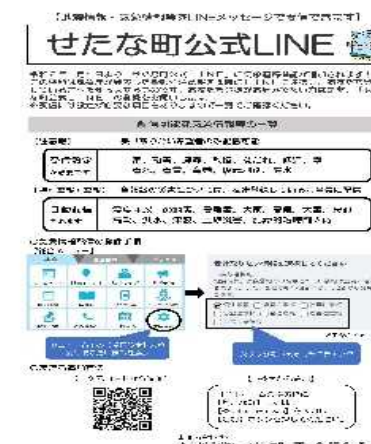
- ・自主防災組織で行う防災活動において、備蓄品の補充や応急手当方法などの防災研修を実施しました。

※実施日、対象町内会、参加人数

- ・6/22 都第5地区町内会 70人
- ・7/7 下若松町内会 47人
- ・11/16 新町町内会 15人

災害情報等の発信強化

○せたな町公式LINEの運用強化



- ・4月1日からせたな町公式LINE運用強化を図り、警報級の災害については、町公式LINE友達登録している方全員に配信を開始



- ・防災教育の推進により防災意識、対応能力の向上
- ・SNSを活用したプッシュ型の災害情報の配信により災害情報入手手段の強化

■内水排除対策

・令和4年8月に発生した大雨災害による内水排除対策として、新たに排水ポンプの購入と、アクセス路を整備しました。



一日防災学校



・令和6年度の一日防災学校(種川小学校・今金小学校)では、水害時にも余裕を持って安全に避難するための備えについて、「マイ・タイムライン」の作成を通じて台風による川の氾濫から身を守るための留意点や避難の方法について学びました。

■被害軽減対策

関係機関合同防災研修会

・総合体育館にて各町内会長、連合自治会長、自治会長、地域の自主防災組織の役員、民生委員児童委員などが集まり「関係機関合同防災研修会」が開催され、延べ103名が参加しました。

美利河ダムの果たす役割の学習や日赤奉仕団による炊き出し訓練、また、災害を想定した避難所における課題を解決するための避難所運営ゲームを体験し、認識を深めました。



総合文化祭

・今金町総合文化祭(展示部門)が、10月26～27日に総合体育館を会場に開催されました。

総合体育館では作品展示及びパネル掲示などがあり、防災関係についても実際に備蓄している非常食の無償提供や避難所用テントを展示し、啓蒙活動を行いました。



・排水ポンプの購入とアクセス路の整備により、内水排除対策を推進。
・防災教育、防災研修の実施により防災意識、対応能力の向上。

■後志利別川 清流まつり

- ・瀬棚郡内水面漁業共同組合設立50周年記念及び、全国一級河川水質調査「水質が最も良好な河川」に通算23回(全国最多)選出されている後志利別川をPRし、多くの人に歴史ある清流に触れてもらうことを目的として、令和6年7月27日に「後志利別川清流まつり」を開催。推定300人が来場した。
- ・イベントでは、アユ釣り体験、ヤマメすくい、アユの塩焼き販売、砂金堀り体験などを通して川に親しんでもらう催しのほかにも、治水事業や美利河ダム等のパネル展示コーナーも設け、防災にも関心をもってもらう取り組みを実施。



まつりのチラシ



まつり会場のデ・モーレン広場



ヤマメすくい体験



砂金掘り体験



後志利別川でのアユ釣り体験



鮎塩焼き販売コーナー



河川事業等パネルコーナー



・後志利別川に親しむイベントを実施。河川への関心を高め、防災意識の向上にも寄与。

■治山対策及び森林整備の実施

- ・ピリカスキー場のゲレンデEコースにて、地すべり対策工事を実施
- ・今金・せたな地区の国有林内で森林整備事業(下刈・間伐)を実施。

■地すべり対策工事



ピリカスキー場遠景・保全対象等



地すべり対策工事

地すべり対策工事を実施、地すべり効果判定業務は来年度(R7)を予定。

■保安林整備事業



下刈作業中



下刈作業後

■森林整備事業



間伐地状況



間伐作業

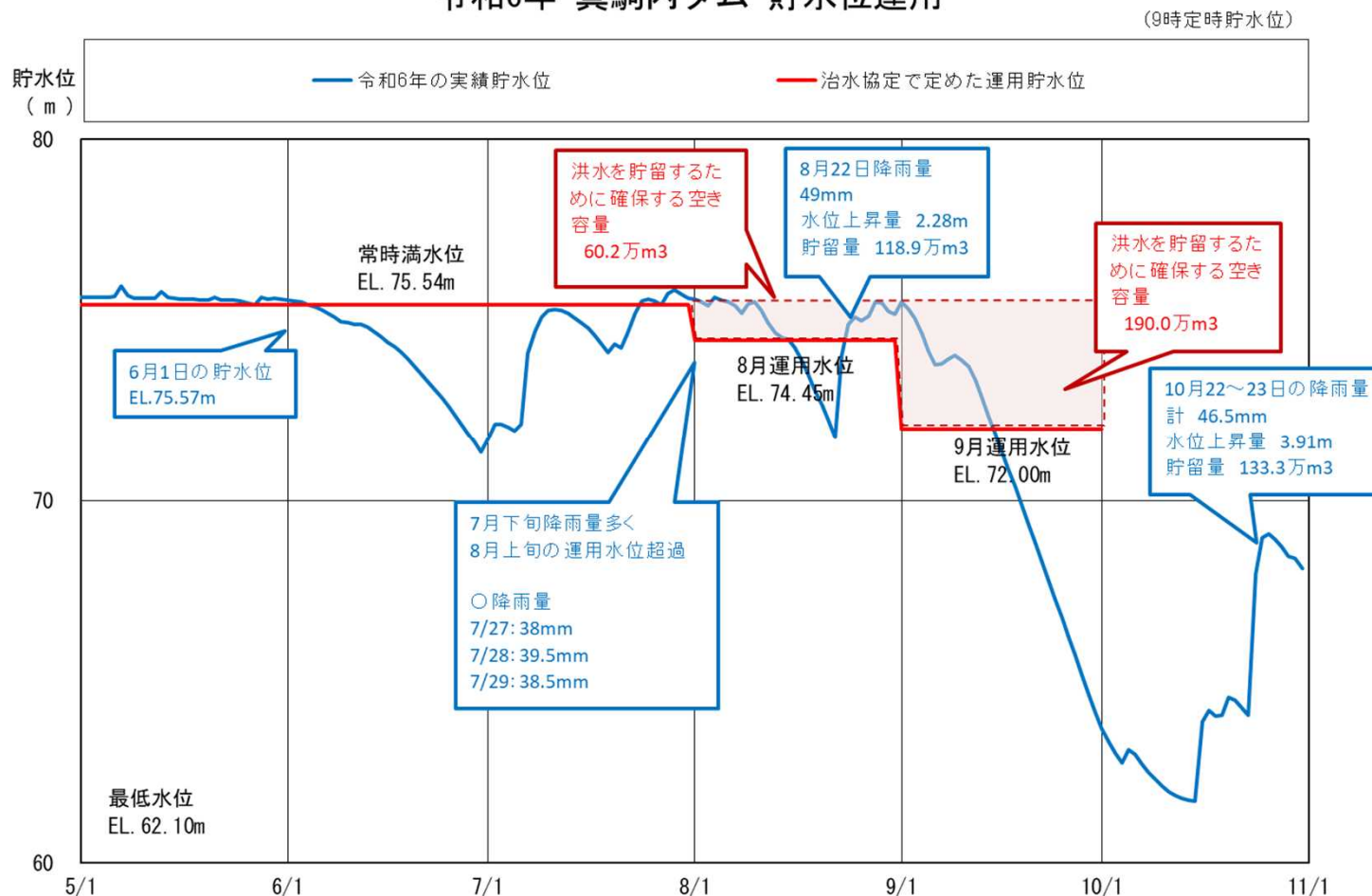
今金・せたな地区の国有林内で森林整備(下刈・間伐)を長期で実施。

- ・地すべり対策工事により土砂災害から地域を保全。
- ・保安林整備、森林整備により山地災害から地域を保全。

■治水協定に基づく事前放流等の実施

- ・後志利別川水系治水協定(令和2年5月29日締結)に基づき、真駒内ダムにおいて洪水を貯留するために水位を低下させた状態とする「貯水位運用」を実施した。
- ・令和6年は7月下旬にかけてまとまった降雨を観測し、常時満水位を超過する期間もあったが、治水協定で定めた運用により氾濫の危険を未然に防止することができた。

令和6年 真駒内ダム 貯水位運用



・治水協定に基づく貯水位運用を実施し、水位が低い期間に洪水を貯留し、氾濫の危険を未然に防止。

■警報等をより効果的に活用いただくため

「気象台からのコメント」を改善、関係機関の防災対応を一層支援

○予測技術の限界をふまえた解説

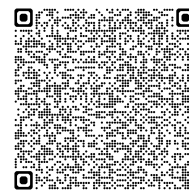
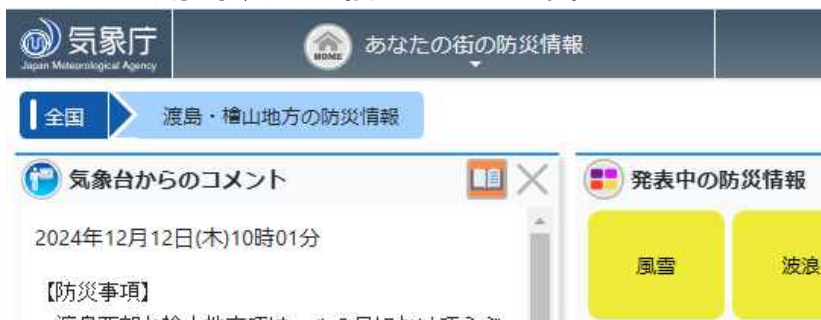
改善例

- ・ 渡島半島の西海上に、**予想していなかった強い雨雲が発生**して東に進んでおり、25日午後には渡島半島にかかる見込みです
- ・ 雨は13日から強まるため、浸水害も含む13日の**大雨[中]の可能性も検討**しています

○可能性の低い（予報官が「もしかしたら…」と考える）シナリオを積極的な記載

- ・ 30日18時－1日06時 大雨[中] 渡島・檜山地方
- ・ 大雨[中]の対象は、**長万部町と今金町を想定**していますが、低気圧の進路や雨雲の発達程度によっては、大雨となる地域が**さらに拡大（八雲町八雲とせたな町）する可能性**があります。
- ・ 函館市（旧函館市）では、大雨（浸水害）の警報級の可能性[中]としています。雨雲の発達程度によっては、警報級の大雨となるおそれがあります。**他の地域への大雨の警報級の拡大の可能性は低い見込み**です

出勤時、退庁前などにご確認下さい！



「あなたの街の防災情報」

■指定河川洪水予報のより確実な運用にむけて

函館開発建設部と相互に相手先に出向き演習実施



函館開発建設部



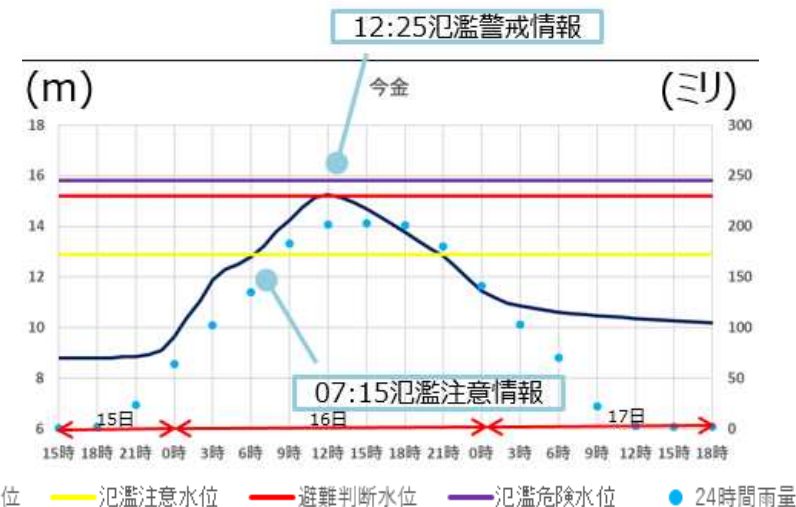
函館地方気象台

■流域平均雨量※を用いた気象解説への取組み

※対象とする河川やダム流域内に降る雨量を平均したもの。

- ・ 流域平均雨量と水位、水害との対応を調査(R4年度～)
- ・ 流域平均雨量予測値を用いた地域防災支援の方策を検討中

後志利別川の流域平均雨量と水位の調査例



・迅速、円滑な避難につながる気象解説・情報提供の一層の強化。

■被害軽減対策の実施

・流域治水チラシ・パネルの作成(今金町総合文化祭で掲示・配布)

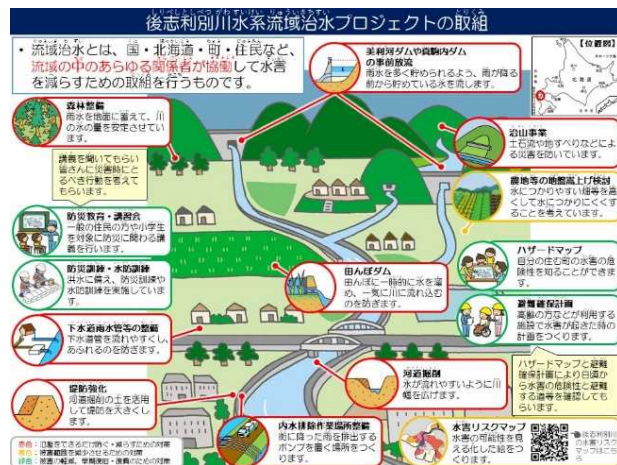
■流域治水チラシの作成



■流域治水パネルの作成



■流域治水こども向けチラシの作成



■流域治水ポスターの作成



・チラシ、ポスターによる啓発により、水災害の自分事化に寄与。

■被害軽減対策の実施

- ・今金町自治会町内会連合会を対象に、美利河ダムの「住民を対象とした施設見学会」を実施。

■美利河ダム管理支所による説明状況



■ダム堤頂の見学状況



- ・令和6年6月20日に水災害の自分事化に関する取組みのとして、今金町自治会町内会連合会を対象に美利河ダムの「住民を対象とした施設見学会」を実施。

- ・自治会町内会連合会15名が参加し、美利河ダムの役割や効果について理解を深めた。

■監査廊の見学状況



■魚道の確認状況



- ・ダムの施設見学、防災操作の学習により、水災害の自分事化に寄与。

■被害軽減対策の実施

・「管理者が連携した合同施設見学」を実施

■美利河ダム（函館開建）



■排水ヤード・排水ポンプ（今金町）



・令和6年10月31日に水災害の自分事化に関する取組みのとして、函館開発建設部、函館建設管理部、今金町、せたな町、土地改良区の機関で「管理者が連携した合同見学会」を開催し、12名が参加。

・美利河ダム、今金河川事務所災害対策車両、今金町排水ヤード・排水ポンプ、トンケ川総合流域防災工事、北桧山排水機場、真駒内ダムを見学。

■トンケ川総合流域防災工事（函館建管）



■真駒内ダム（土地改良区）



・各管理者の水災害対策の取組みの理解を深めた。



・管理者が連携した合同施設見学を実施し、水害対策の取組の理解を深め、水災害の自分事化に寄与。